

入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

<短期大学部>

短期大学部では、人間生活に直接かかわる食料生産、環境や食品などの実際的な課題に興味を持ち、その問題解決に向けて意欲的に取組み、社会に貢献できる人材の養成を目指します。そのため、本学では次のような学生を求めています。

- (1) 農業（畜産を含む）または関連産業の後継者になろうとする意欲がある、また生物生産業または関連産業の経営者、指導者、技術者を目指している、さらに動植物に興味と関心を有し、身につけた知識と技術で社会に貢献しようとする意欲がある。
- (2) 公園、庭園、里地・里山および自然植生などの緑地、植物・昆虫・動物、生物多様性などの自然環境分野ならびに環境問題に興味・関心を持ち、時代の要請に則した緑豊かな生活環境の創造、自然との共生を実現するために努力を惜しまず、知識・技能を身につけようとする意欲がある。
- (3) 醸造、食品、微生物、食品分析、食の機能性、環境などに興味を持ち、醸造および食品業界の発展ならびに食の安全、安心の担保に意欲がある。

<生物生産技術学科>

生物生産技術学科では、生物生産についての基礎知識や遺伝子レベルから生産現場レベルにいたるまでの基礎知識を修得し、環境にも配慮した実践的な生産技術を理解できる人材の養成を目指します。そのため、本学科では次のような学生を求めています。

- (1) 農業に関心があり、農業や畜産業、さらには生物産業または関連産業の経営者、指導者、技術者になろうとする意欲がある。
- (2) 動植物に興味と関心があり、作物・園芸・動物の特質、生産技術、生命現象等に興味と関心がある。

<環境緑地学科>

環境緑地学科は、人と自然との良好な共生を目指し、その実現に向けた社会の構築に貢献できる人材の養成を目指します。そのため、本学科では次のような学生を求めています。

- (1) 地球環境問題や生態系、自然を構成する動植物に興味・関心を持ち、時代の要請に則した緑豊かな生活環境の創造に必要な専門的知識、技術を学ぶための基礎的な学力や技術を身につけている。
- (2) 現在の自然・生活環境の問題点について真剣に考え、それらを改善するための実際的な緑地の設計や樹木の植栽などの専門的知識、技能・技術を修得する意欲がある。
- (3) 修得した専門的知識や技術・技能を活かし、緑豊かな生活環境の創造や自然との共生のための施策の立案とその実現において、関連する多種多様な人々とコミュニケーションをとり、協働しながら事に当たる姿勢を身につけている。
- (4) 修得した専門的知識や技術・技能によって、緑豊かな生活環境の創造や自然との共生のための具体的な景観の空間設計や計画立案をすることができる。

<醸造学科>

醸造学科では、醸造および周辺領域（食料、環境、健康あるいは資源・エネルギーなど）の学問に興味を持ち、醸造をはじめとする微生物関連工業の発展に貢献できる人材の育成を目指します。そのため、本学科では次のような学生を求めています。

- （1）酒類をはじめ、広く発酵食品の製造に関心を有した技術者・研究者を目指そうとする意欲を有している。
- （2）微生物関連工業に関わる「ものづくり」への興味が強く、当該技術の継承と発展を目指そうとする意欲を有している。
- （3）高校の「化学」、「生物」、「数学」、社会系科目および語学において、基本的・基礎的な学力を有している。